

ねそ

守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>



茅の自給を目指した質の向上のために

御殿場へ視察に～御殿場の茅刈り事情に触れて～

守る会では、合掌造りを守るため茅の自給率向上に努めています。令和3年秋に待望の茅刈り機が導入され、次から次へと効率よく茅を刈り取り自動で束ねる様子に、当時とても感動したことを覚えています。あれから2年が経過し、曲がった茅や草が混ざる、茅場に良質な茅が密集していないため質の良い茅を探しては刈り取りを行うため効率が悪い等、茅刈り機の効果をより高めるためには、まだまだ課題があることが見えてきました。一方、村の茅不足を補うため調達している静岡県の御殿場では、刈り手の高齢化や担い手不足が進んでいることから、昨秋、村で予定されていた結の屋根葺きが、必要な茅の供給が足りず延期になるというアクシデントに直面しました。

そこで、茅の自給を目指した質の向上と、御殿場の茅を安定的に供給いただけるよう、2月10日（金）から11日（土）にかけて守る会役員有志と(有)かや屋根技術舎とで御殿場へ視察に行き、茅の供給をしてくださっている(有)富士勇和産業の方と意見交換をしました。

茅の質の向上のために

- ・御殿場では昔から野焼きを実施。害虫駆除や雑草除去の効果があり、株が大きくなり茅の根元が曲がるのを防ぐこともできる。新芽を刺激すると良い芽が生えてくる。
 - ・野焼きの範囲は約4,000ha。1,000人ほどが参加し、役割分担をして行っている。
 - ・天候や服装の基準等が決められており、厳しい安全管理の下、野焼きが行われている。
- ▶野焼きを行うことにより、草が混ざってしまう、株が大きくなり根元が曲がってしまう等の課題は解決できるのではないかと感じました。真っすぐな茅を増やすことで、相対的に質の良い茅の刈り取りが可能となるのではないのでしょうか。

御殿場の茅刈り事情

- ・御殿場の茅場面積は約6,000ha。うち、刈り取りができていない面積は200ha以下。
 - ・御殿場で刈り取り可能な時期は白川村より長く、11月中旬から2月上旬。
 - ・刈り手を募集して人は来るが、過酷な仕事内容のため長続きしない。仕事を教える熟練さんの負担も大きい。
 - ・地元では元々茅刈りを生業にしていた人も多かったが、仕事の選択肢が増え、人材が他の仕事へ流出している。
- ▶御殿場での刈り手不足の課題は、聞いていたよりも深刻なことであると感じました。白川村で茅刈り機を導入した感想や、御殿場の茅場でも使用できそうであることをお話したところ、御殿場でも茅刈り機の導入を検討したいとおっしゃってください、もし実現すれば、より安定的に茅を供給いただけるのではないのでしょうか。

お話を伺った後、御殿場の茅場をご案内いただきました。村ではあまり見かけない株になっていない茅ばかりで、その一本一本が真っすぐ天に向かって伸びていて、野焼きの効果を実感することができましたし、手で刈るにしても機械で刈るにしても、刈りや

すいことが一目瞭然でした。視察を終えて、御殿場でも多くの課題を抱えていることを知り、これからも交流を深めることで、お互いの悩み事を解消していけたらいいなと思いました。〔企画部〕

事務所の奥には茅で作ったほうきや建材も



広大な茅場は自衛隊の演習場でもあり不自由なことも



事務所内外に茅保管庫を設置、刈り手ごとに管理



茅束のサイズは数センチ単位で決められている



野焼き直後の黒ずんだ茅場



真っすぐに伸びる質の良い茅



守る会活動スローガン ～守る・暮らす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

2月の活動報告 [※4月の定例会は11日（火）を予定（公民館またはzoomにて）](#)

3日 荻町構想計画会議（役員・財団・教育委）

10日 - 11日 御殿場視察（役員有志）

8日 定例会

17日 旧寺口家消防設備点検（福田）

9日 ねそ2月号発行（総務部）

3月の協議事項（現状変更申請に関わって） 3月7日開催

****…合掌店舗の改築

****…日除け屋根設置

白川村観光振興課…荻町観光マネジメント看板の設置・不要物の撤去・既存看板の修繕

白川村総務課…既存消火栓BOXの移設

センガ岩倉庫の入れ替えは3月26日（日）8:00～ 使用料をお忘れなく！！！！